

グループメンバー

嘉数隆志(株式会社小松製作所)
中野信一(川崎重工業株式会社)
木下博貴(川崎重工業株式会社)
堀江和男(製造科学技術センター)
小山和夫(日本通運株式会社)

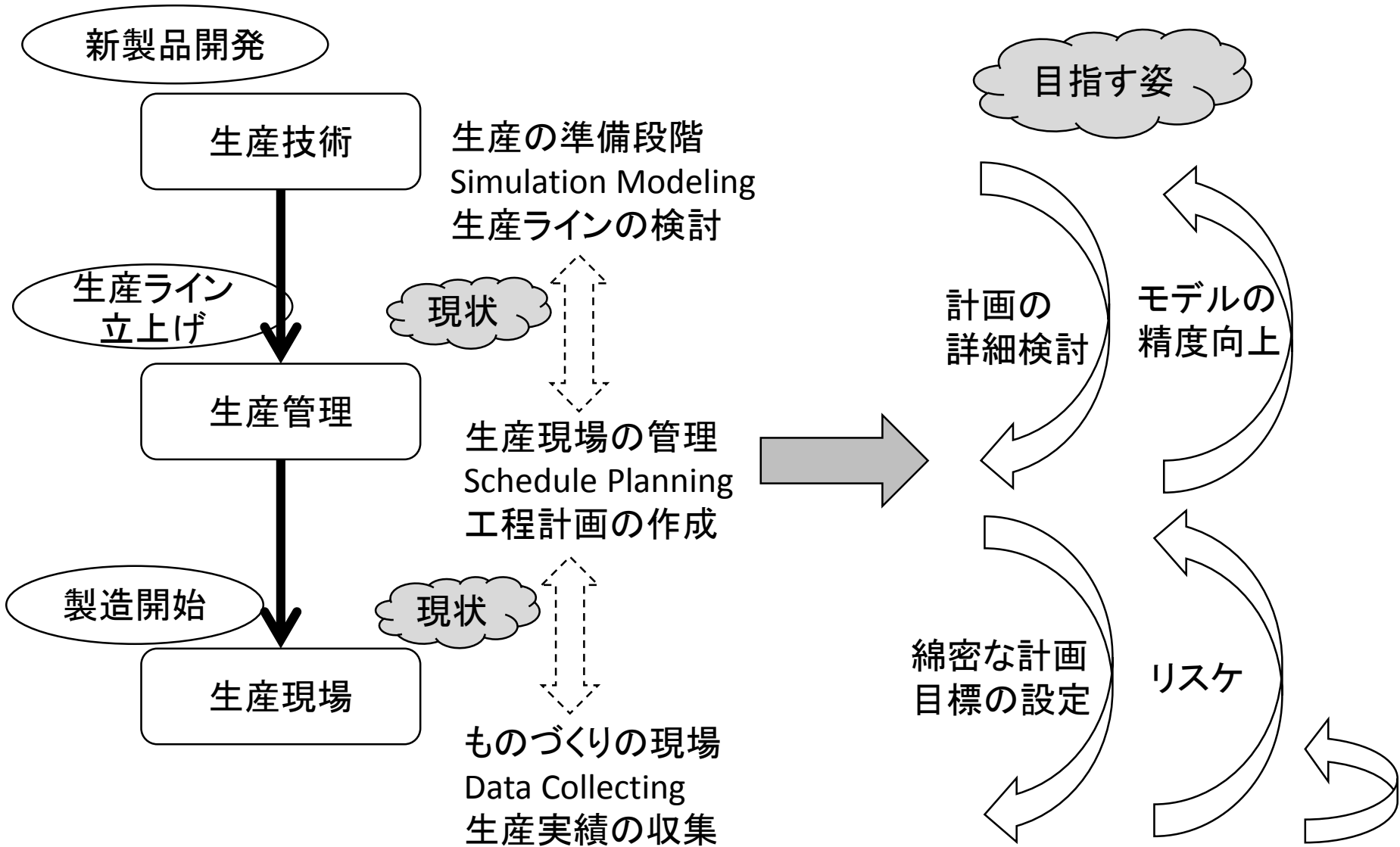
生産技術 & 生産管理モデル連携

【BS207】

報告者

川崎重工業株式会社
中野 信 一





アウトプット

シミュレーションで目標を作る！

シミュレーションで可視化できる！

差が見えれば対策が打てる

変かどうかわからない→わかる

リーダーのはずの生産管理がリーダーぽくない(総括は計画部門)

生産管理が弱くなっている、パソコンで不整合直している→評価がない仕事

安全バッファをどう管理して現場を回すか？

少量多品種が進めば皆到達する問題

どのようなケースからこの問題に引っかかる？

無駄をなくす点でカンバン方式もI4.0も同じ？

トラブル等の情報がリアルタイムに流れてない

シミュレーションに使う手間が大変

シミュレーション結果をスピーディーに現場にどう反映するか

属人要素が大きい

現場の変化への対応性、追従性

作業者の人力と現物の対応がズれる？

人の要素がない、変化が少ない、シミュレーション精度が高い

作業者スキルのバラツキ、成長への対応

人要素をどのように扱いシステムとするか？

少量生産製品をどう扱っていくのか

加工(熱処理)がはいるとシミュレーションが難しい

全自動化が全てではないが、イメージが浮かばない

工場の物流に合わせて人が動きまくり

装置の使用率を上げたい(現場の考え?)

現実としてムダはあるが現場が回ってる→どう変えていくか？

少ない人で少ない工程で物作りしたい
※工程が少ないほうがよいかはすかう
装置は人員次第

管理者の現実と現場の現実のギャップ

技術・管理・購買それぞれがスケジュールリングに影響を与える

技術と管理の連携が行われていない?(そのとき、そのときの一方通行?)

ハードウェアとシミュレータの共通化

海外の見える化が進んでいる、物が滞留しない(共通化されているわけではない)

標準化が進むと差別化ができなくなるのか?

